

# 友達と遊ぶことの楽しさを共有し合える幼児の育成 — 支援が必要な幼児と周りの幼児の 遊びと遊びをつなげる環境の構成 —

特別研修員 特別支援教育 細野直也(幼稚園教諭)

目指す幼児像 一緒に触れ合ったり、関わり合ったりしながら楽しさを味わえる幼児

## 手立て1 物的環境の構成

- 一緒に遊びを楽しめるような材料や用具、遊具を準備する。
- 遊びを発展できるような場や空間を設定する。
- 遊びを盛り上げるBGMを準備する。
- 物のやり取りができるように用具や遊具の数を調整する。

幼児同士の  
遊びと遊びを  
つなげる支援

## 手立て2 人的環境の構成

- 遊びに参加しながらモデルを示す。
- 幼児の思いや気持ちを代弁する。
- 幼児の思いやりのある言動を認める。
- A児と周りの幼児との関わり方を知らせる。

### 支援が必要な幼児(A児)の実態

- ・同年齢の幼児に比べ、会話がうまく成立しない。
- ・特定の遊びや幼児との関わりを好む。
- ・教師や介助員の支援があれば、短時間、周りの幼児と関わり合って遊んでいる。

### 周りの幼児の実態

- ・A児のことがよく分からない。(好き嫌い、思いや気持ちなど)
- ・どうしたらA児とうまく関わり合ったり、一緒に遊びを楽しんだりできるのか分からない。

## 実践 「思い思いの遊び」 (4歳児 8月～10月)

### 手立て1 物的環境の構成

貸し借りや譲り合いができるくらいの数や種類を見極め、三輪車と牽引車を用意しておいた。

A児が三輪車で遊んでいた。

牽引車を持った男児が「くっつけていい?」と、尋ねた。

三輪車と牽引車を合体させた乗り物をつくった。

興味を示した男児2名が遊びに参加した。

ありがとう。

しゅっぱ〜つ。

つぎは、  
こうかんするね。

じゃあ、  
おすよ!



席を譲ったり、役割を交代したりしながら、  
友達と楽しく遊べた。

### 成果

- 幼児の興味・関心の見取りを基に、材料や用具、遊具を準備し、ちょうどよい数を見極め調整したことで、A児と周りの幼児とで物の貸し借りや会話が生まれ、一緒に触れ合ったり、関わり合ったりする機会が増えてきた。
- A児の言葉にできない思いやうまく伝えられない気持ちを教師や介助員が代弁したことで、周りの幼児が思いや気持ちに気付くことができ、会話を交わしながら楽しく遊ぶ姿が少しずつ増えてきた。
- A児や周りの幼児がとった思いやりのある言動を認め、言葉で伝えたことで、学級全体が温かな雰囲気になり、友達を受け入れられるようになってきた。

### 手立て2 人的環境の構成

A児：バケツの水を男児の泥団子の素に入れてしまった。

男児：「うわ〜、Aちゃん、みずいれちゃだめだよ」

A児：慌てた表情を浮かべた。

手立て2 教師：A児と男児の思いや気持ちを代弁した。

Aちゃんは  
お手伝いした  
かったみたいよ。

「男児にお水入れて  
もいい」って聞いた  
ら、よかったね。

いいよ。  
ここに  
いれて。

おみずいれて  
いい?



互いの思いや気持ちに気付き、受け入れられた。  
会話を交わしながら楽しく遊べた。

### 課題

- A児と周りの幼児との遊びの興味・関心が重なる材料や用具、遊具を準備し、遊びの場や空間などを考えて設定したが、物的環境の再構成をするきっかけやタイミングの難しさを感じた。場合によっては教師がイメージした遊びになってしまうこともあった。
- A児と周りの幼児との遊びをつなげようとするあまり、教師や介助員が必要以上に言葉を補う場面が多々あった。幼児同士の遊びの様子を見守ったり、幼児に任せたりすることの必要性を感じた。